

ポップコーン機

使用方法

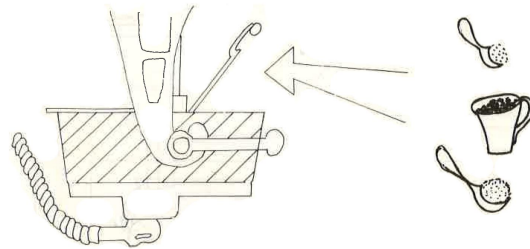
①機械は安定のよい所に置きます。

②コンセントが遠い場合で延長コードを用いる時は、13A以上の延長コードを用いて下さい。

③保温と調理スイッチをONにします。

④下記の通りの材料を釜に入れます。

塩(小さじ1杯)
とうもろこしコーン(120mg～150mg)
OIL、油(大さじ1杯)

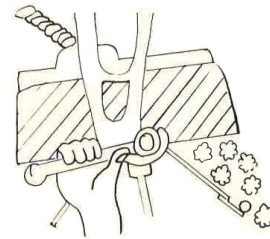


※材料は同時に入れて構いません。別々に入れる時は次々に入れるので順序は構いませんが、出来れば料理と同じで油を最初に入れて下さい。
とうもろこしはポップコーン種を使います。他のとうもろこしだとはじけません。

⑤しばらくするとポンポンとコーンがはじけ釜ブタより飛び出て来ます。

初回は前もって温める時間を含めて15分位、2回目からは2分30秒～4分で出来ます。

⑥はじけて飛び出すのは全部ではないので、釜に残った分は傾けて出さないといけません。
ポンポンとはじける音がなくなったら(全部はじけ終わったら)、
レバーを下に回し釜を180°回転させ釜に残ったポップコーンを全て出します。
(この時釜は高温ですから触れない事)



⑦連続使用2回目からは、④以降の繰り返しです。

使用を中断する時は、必ず調理スイッチはOFFにして下さい。

※できあがったコーンは、その都度釜から取り除いて下さい。

釜に入れたままにしていると焦げ付いてしまいますので御注意下さい。

※はじけの悪い物や、小さなカスは下部パネルの孔から下のパットにたまりますので、引き出して捨てて下さい。

ポップコーンがはじけない時

●本機は12Aの使用電量ですから、同じコンセントからの他の電気製品を用いますと、十分な容量が取れない事が多いので、御注意下さい。

●コード延長の時は、13A以上の容量コードを用いて下さい。

ドラム型コードはコードをドラムより全て引き延ばし熱放射させ、電圧低下を防いで下さい。

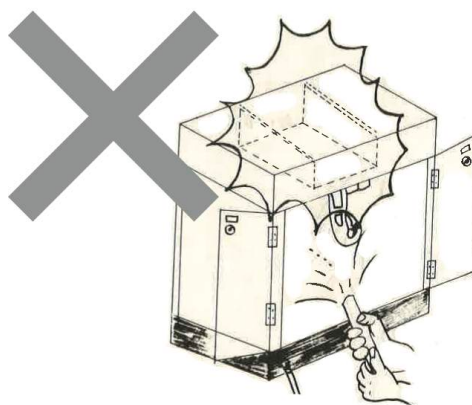
●少し位の電圧低下の時は、通常初回12～15分(予備過熱時間含)2回目より2分30秒～4分のところ、それ以上の時間がかかります。その時は時間がかかった為製品が茶色がかかります。

お手入れ方法(掃除)

○本機は、食品機械ですのでお客様に不快感を与える事のないように、又、機械の保守の為に
お手入れをこまめに行ってください。
塩分を用いますので湿気を呼び腐食の元となりますので使用後は、乾いたタオルで残留物を除至して下さい。

○特によごれのひどい時は、下記の注意を守って水洗いをして下さい。
(乾いたタオルでは塩気、残留物が取りにくい時。)

天上部のモーター等の電気部品が入ったBOX部には
水が絶対かからないようにガラス等を洗淨し乾いたタオルで拭き取ります。
コンセントの差し込みも絶対に濡らさないで下さい。



○釜部のお手入れ

釜がまだ熱を持っている時にそのまま触れると火傷をする危険がありますから、
その時は乾いたタオルなどを釜にあててから、行って下さい。
釜部よりフレキシブル(ジャバラ状のパイプ)が天上のソケットに接続されています。
少し回転させて下に引き抜いて下さい。
取り付けの際は、差し込んだ後に抜けないように、少し回します。
次に少し釜を倒した状態で底とシャフトを手で、右上に持ち上げるようにすれば、
ブラケットより釜が外れます。

○本機は、釜外面をよごれ防止の為にテフロン処理していますので釜部は金属タワシ等を使用しないで、
乾いた布等で、釜の中・外面・フレキシブルを掃除します。
釜の水洗いは決して行わない事。

